

## 第7章 地盤沈下対策

大阪における地盤沈下の歴史は古く、昭和3年に現在の国土地理院（当時の陸軍陸地測量部）が、大阪市北西部の地盤沈下を発表し、更に昭和9年に阪神地区を襲った室戸台風による高潮被害が甚大となったことから、その重大性がクローズ・アップされた。その後、調査研究も進み、今日では府下における地盤沈下の主原因は地下水の過剰採取にあると考えられており、したがって地盤沈下の防止には、強力な地下水採取規制により、地下水採取の抑制を図ることが必要であると一般に認識されるようになった。

このため、本府では、法律による地下水採取規制に加えて府公害防止条例による規制を行っている。

### 第1 法律、条例による規制

#### 1 規制の概況

法律及び府公害防止条例による地下水の採取規制は、井戸（揚水設備）の揚水機の吐出口の断面積が6cm<sup>2</sup>を超える動力付きのものを対象として、工業用水法（昭和31年法律第146号）にあっては、工業用水としての地下水の採取を規制し、建築物用の地下水の採取の規制に関する法律（昭和37年法律第100号）では、冷暖房・水洗便所・洗車設備・公衆浴場の用に供される建築物用の地下水の採取を規制している。また、府公害防止条例では、昭和46年9月から東大阪地域における上水道事業用（給水人口5,000人以上のもの）を対象としてきたが、更に昭和50年1月から泉州地域も規制地域とし、製造業及び電気・ガス・熱供給業の事業用（以下「工業用」という）の地下水採取を規制している。

これらの規制地域及び許可基準は、図3-7-1、図3-7-2、図3-7-3及び図3-7-4のとおりである。

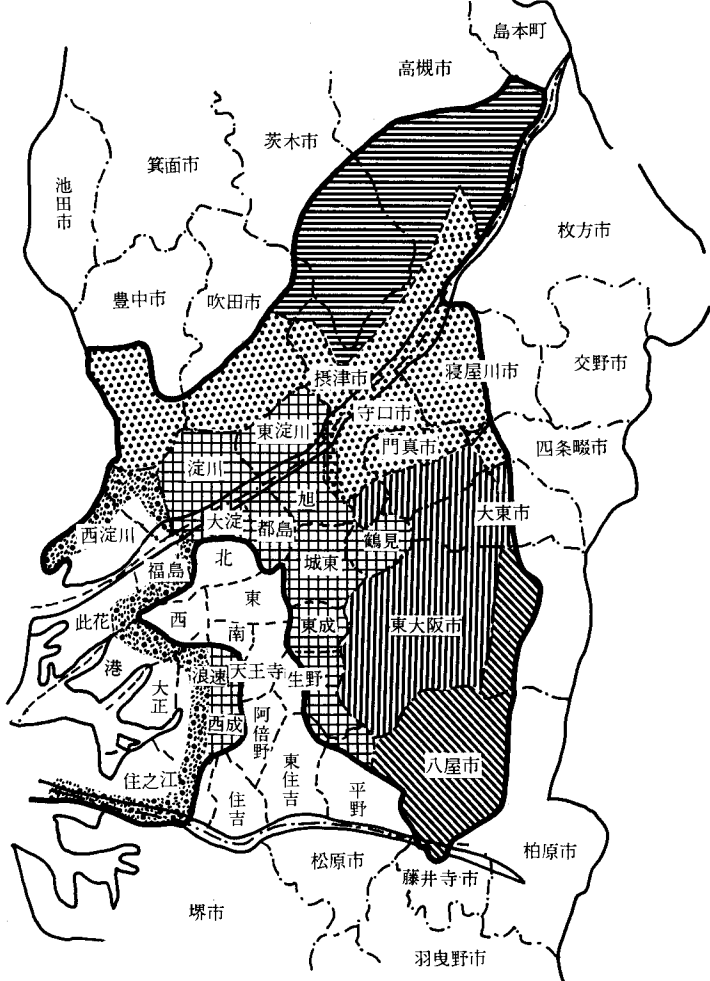
#### 2 許可井戸の状況

法律及び府公害防止条例により許可された井戸の状況は、表3-7-1及び表3-7-2のとおりである。

### 第2 工業用水の給水

地盤沈下対策の一環として、府では工業用地下水採取の代替水として工業用水の給水を行っている。昭和49年度においては、370社に対し年間約1億2,700万m<sup>3</sup>を給水した（表3-7-3）。

図3-7-1 工業用地下水採取の規制地域及び許可基準(法律)









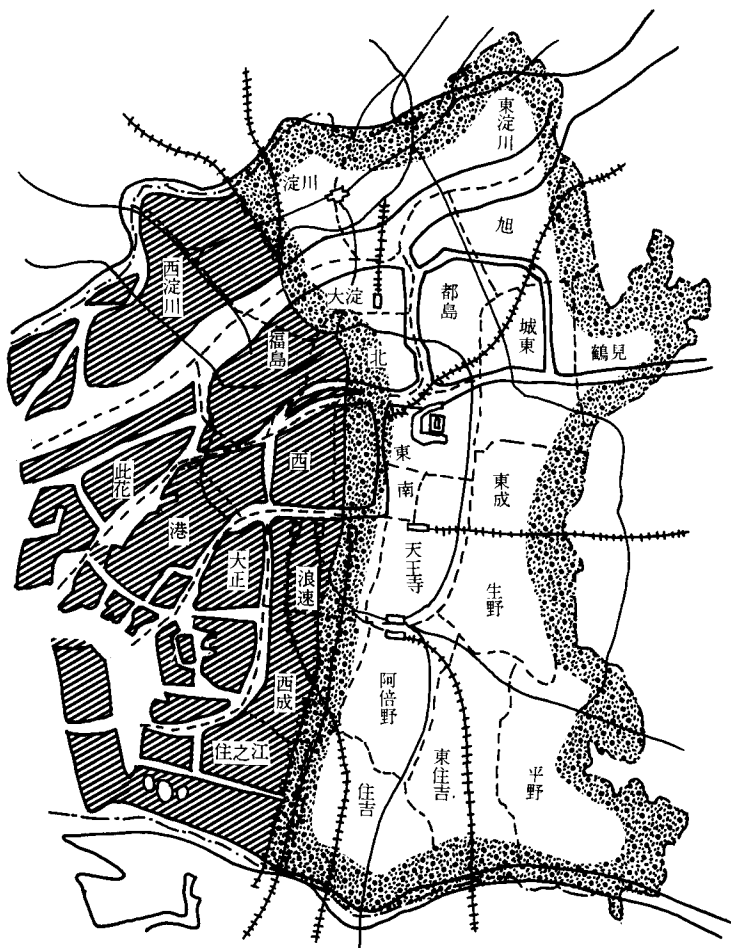
区分	許可基準		区分	許可基準	
	揚水機の吐出口の断面積	ストレーナーの位置(地表面下)		揚水機の吐出口の断面積	ストレーナーの位置(地表面下)
	21cm以下	600m 以深		46cm以下	180m 以深
	21cm以下	500m 以深		46cm以下	100m 以深
	21cm以下	350m 以深		55cm以下	100m 以深

図3-7-2 建築物用地下水採取の規制地域及び許可基準(法律)





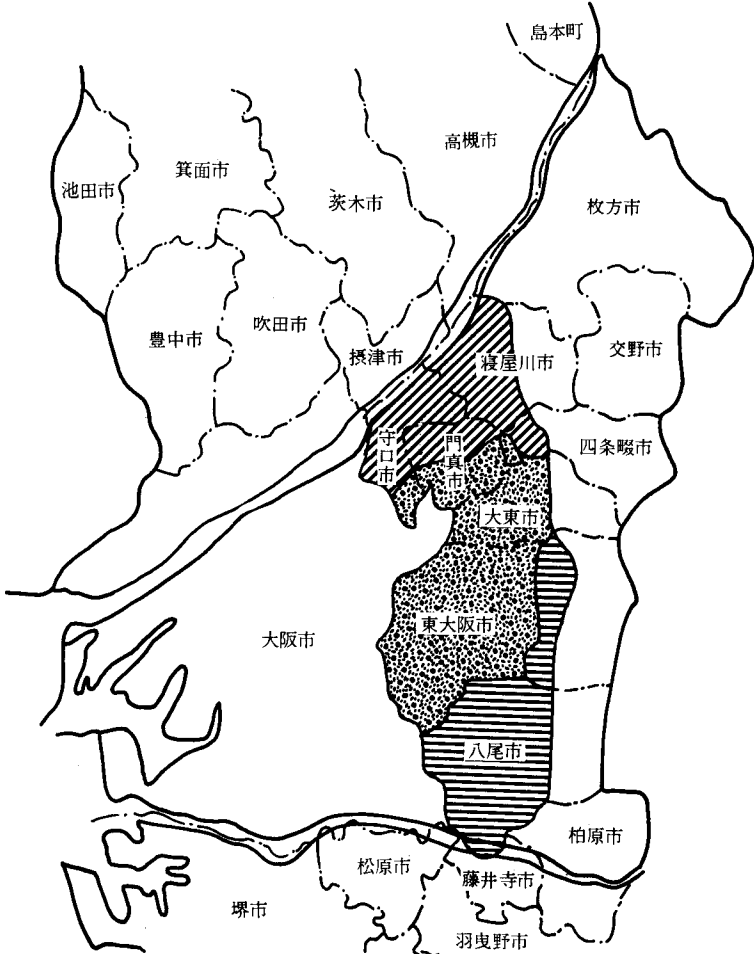
区分	許可基準	
	揚水機の吐出口の断面積	ストレーナーの位置(地表面下)
	21cm <sup>2</sup> 以下	600m以深
	21cm <sup>2</sup> 以下	500m以深

図3-7-3 水道事業用地下水採取の規制地域及び許可基準(条例)






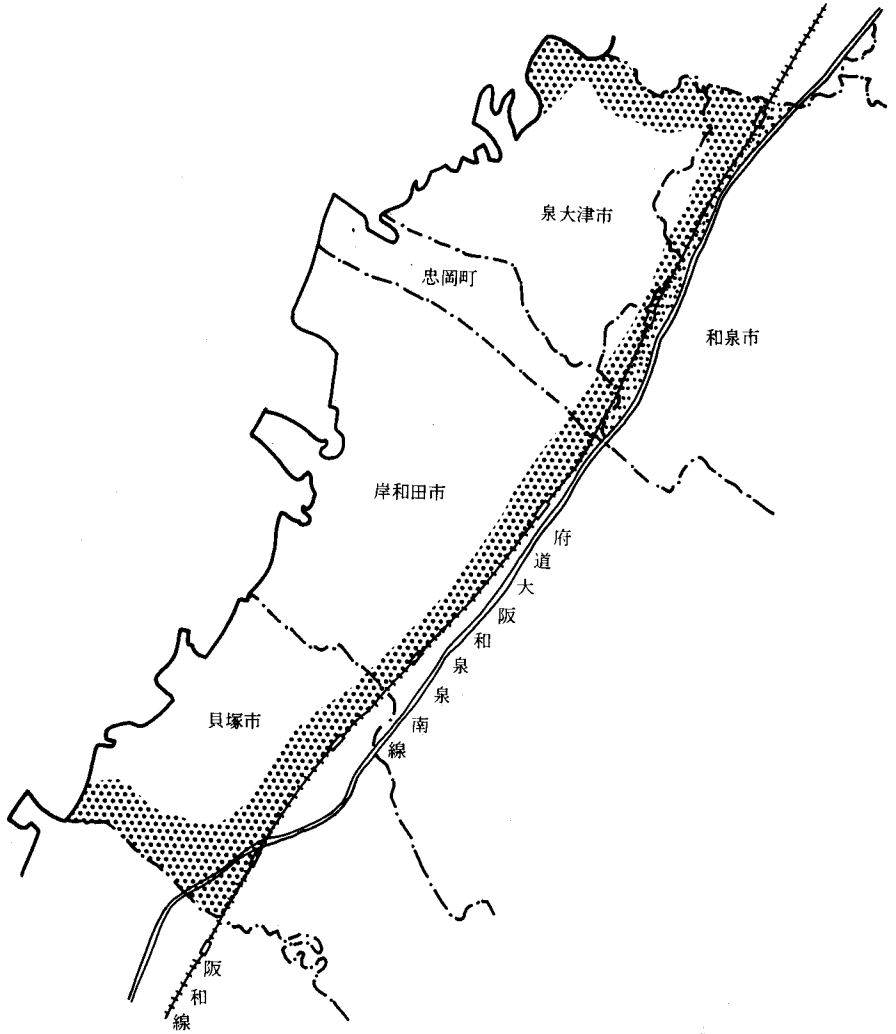
区分	許可基準	
	揚水機の吐出口の断面積	ストレーナーの位置(地表面下)
	46cm <sup>2</sup> 以下	180m 以深
	21cm <sup>2</sup> 以下	350m 以深
	46cm <sup>2</sup> 以下	100m 以深

図3-7-4 工業用地下水採取の規制地域及び許可基準(条例)



許 可 基 準

揚水機の吐出口の断面積	ストレーナーの位置(地表面下)
21cm以下	200m 以深

表3-7-1 工業用水法による許可井戸状況

(単位：本)

区 分	昭和49年3月31日 現在の許可井戸	昭 和 49 年 度		昭和50年3月31日 現在の許可井戸
		許 可 井 戸	廃 止 井 戸	
大 阪 市 内	4	0	0	4
北 摂 地 域	87	0	2	85
東大阪地域	38	3	0	41
合 計	129	3	2	130

表3-7-2 府公害防止条例による許可井戸状況

(1) 水道事業用

(単位：本)

区 分	昭和49年3月31日 現在の許可井戸	昭 和 49 年 度		昭和50年3月31日 現在の許可井戸
		許 可 井 戸	廃 止 井 戸	
寝屋川市	0	0	0	0
四条畷市	2	0	0	2
守口市	0	0	0	0
門真市	0	0	0	0
大東市	5	0	0	5
東大阪市	3	0	0	3
八尾市	8	0	0	8
合 計	18	0	0	18

(2) 工業用

(単位：本)

区 分	昭和50年1月31日現 在の許可(届出)井戸	昭和50年2月1日以降		昭和50年3月31日 現在の許可井戸
		許 可 井 戸	廃 止 井 戸	
泉大津市	80	0	0	80
忠岡町	48	0	0	48
和泉市	19	0	0	19
岸和田市	44	0	0	44
貝塚市	39	0	0	39
合 計	230	0	0	230

表3-7-3 工業用水の給水状況

区 分	第3次工業用水道	第4次工業用水道	合 計
会 社 数 (社)	113	257	370
年間給水量 (m <sup>3</sup> )	56,008,606	70,910,576	126,919,182